



モルディブ・マレ島 南護岸が記念切手に

オリコンサルグローバルが設計

モルディブ政府が発行した「日本・モルディブ外交関係樹立50周年記念切手」に、オリエンタルコンサルタンツグローバル（東京都新宿区、米澤栄二社長）が同国マレ島で設計した人工ビーチと南護岸の写真を採用された。8枚つづりの切手シートとして現地で販売している。

ニューカレドニア・ロイヤルティ諸島にあるマレ島の護岸整備プロジェクトは、全周約6キロの島全体を高波から守るために、日本の政府開発援助（ODA）で1991～2001年に行われた。オリエンタルコンサルタンツグローバルが現地調査、実施設計、施工監理などを担当した。プロジェクトの完成直後の04年に来襲したインド洋の大津波では護岸の防災機能が十分に発揮され、マレ島での人的・物的被害はなかったという。